

ARAI NEWS

OFFとON両方使えるヘルメット。それも半端なものではなく、OFFもONも万全のものでなければならぬ。それがOWのコンセプトです。だからそのリキの入り方が、OWの特徴となってそのまま現れているのです。

① 安全性優先のスタイル

フルフェイスタイプのオフロードをアライが作らなかったのは、アゴ部が尖っていると、転倒の際に、首をやられる可能性があるから。だから、OWでは、アゴ部の形状も転倒の際に滑りやすいなめらかな形状にしています。まずは、安全性に付いて疑問点を無くす。アライの基本です。

② フルシステム内装とクレードルパッド



モトクロスで走れば汚れるのは当たり前。だから内装は洗濯機ですべて洗えるフルシステム内装。せっきのフルフェイスタイプなのだから、フィット感もクレードルパッドを採用し、頬から耳にかけて一体に押さえ、重量感を分散させるフルフェイスタイプ。OWをテストして買ったモトクロスの国際A級ライダーの間でも、軽く感じると大好評です。

③ エアークロスバイザー

ライティングポジションに合わせ、上下に微調整のできるエアークロスバイザー。両サイドのエアークロスと、形状により、空気抵抗を大幅に軽減しています。

④ ノーズティフレクター



OFFでの走行時に、ゴーグルとの隙間から口元への、石や泥の侵入を防ぐノーズティフレクター。ONの時には、曇り止め効果も発揮します。差し込み式なので取り外しも自由です。

⑤ ベンチレーションシステム



運動量の多いOFFでの走行に合わせ、ONではききすぎる程のベンチレーションシステム。口元のマウスダクトとゴーグルとの間に隙間を作るエアースクープエッジから入ったエアを、トップダクトとサイドのエアーフローダクトから効率的に逃がしていきます。サイドのエアーフローダクトは、2つのダクトの間にリップとブリッジを設けることにより剛性を高め安全性を確保した安心設計です。

⑥ OWアドシールド

OFFが本命のOWだから、ON仕様にするにはオプションのOWアドシールドが必要です。最初の取り付けは、バイザーを外して付属のシールドベースをネジ4本で止めるだけ。後の着脱はアドシールドだからワンタッチです。



⑦ ONでの機能も万全

オプションでのON仕様といっても、装備にはめぐりない。シールドの跳ね上げを防ぐシールドストッパー、曇りを防ぐデミストエッジは標準装備。ONではききすぎるベンチレーションシステムはマウスダクトのエア流入を防ぐ、パッドも付属装備している。



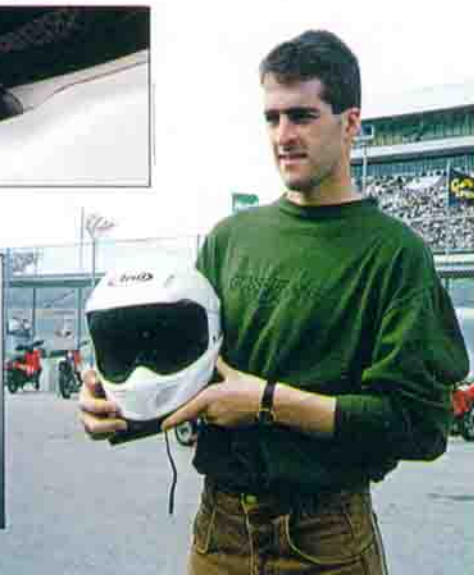
⑧ レース界でも話題騒然

OWの発表で、OFFもONの世界も話題騒然。OFFでは、国内のA級ライダーだけでなく、スーパークロスのチャンピオンのジェフ・スタントンにも極秘テストをしてもらい、レースで使わせてくれないかとの申し入れもありました。もっとも彼の場合アメリカでレプリカも出しているのに、今年のレースにはMX-2で出るそうです。ONの場合、特に最近日本でも人気のドラッグレースのライダーの方からの注目度も高く、今年は多くのライダーがOWで出場する事でしょう。

その他にも帽体にはOLCを採用していますし、特徴はまだあります。最近、ひとつのモデルの特徴だけでこれほど多くを語るモデルも珍しい事です。それだけリキの入っている証しです。ぜひ店頭で御覧になってみて下さい。



ドイツでのチャンピオン ジェフ・スタントン



OFFでもONでも話題騒然 OWのコンセプト

スタッフ募集

ヘルメットの理想を求めて壁に挑み、答えを製品化して世に問う、それがアライの使命と考えます。業ではないが世界をリードする仕事は、意欲溢れる人を求めます。これぞ自分を活かすみち、と思う方、ご応募下さい。服飾などの経験を、優れた内装の開発に活かしてみたい方、歓迎します。

ご希望の方は、ご自分のアピールに履歴書を添えて、下記までご送付下さい。
〒330 大宮市東町2-12 株式会社アライヘルメット 総務担当 木村 亮
TEL.(048)641-3825~7